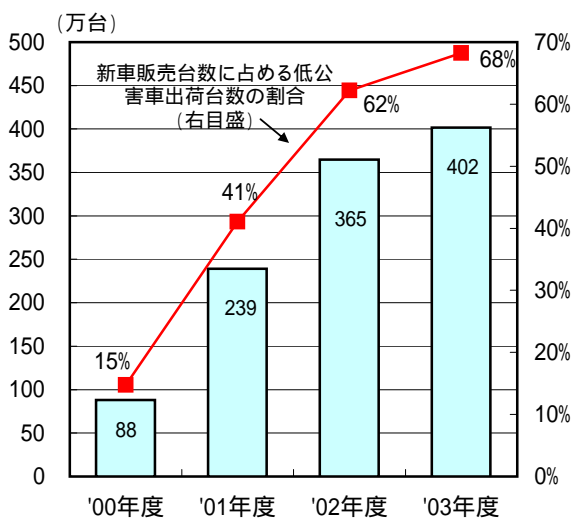




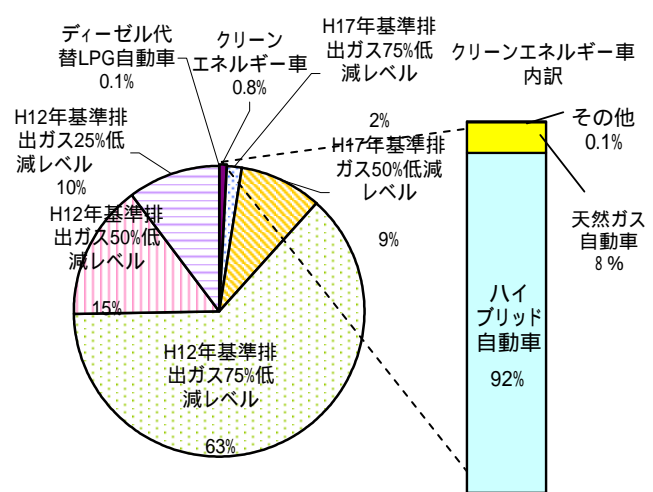
普及が進む低公害車の動向（1）

- ・低公害車の出荷が順調に拡大している。2003年度の低公害車の出荷台数は400万台を超え、同年度新車販売台数全体の7割に達している。但し、低公害車の内訳をみると、低燃費かつ低排出ガス車（省エネ法に基づく燃費基準早期達成車で、低排出ガス車認定実施要項に基づく低排出ガス認定車）が圧倒的多数を占め、より環境負荷の低いハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車、燃料電池自動車等の所謂クリーンエネルギー自動車は1%程度に留まっている。
- ・クリーンエネルギー自動車のうちハイブリッド自動車が全体の9割以上を占めている。ハイブリッド自動車は97年のプリウス（トヨタ自動車㈱）発売以降、徐々に車種数も増えており、2004年度末では保有台数が20万台に達する見通しである。また、天然ガス自動車はクリーン自動車全体に占める割合は1割弱であるが、貨物車の9割以上を占めており、インフラの整備と相まって普及が徐々に進んでいる。

図表1 新車販売台数に占める低公害車出荷台数

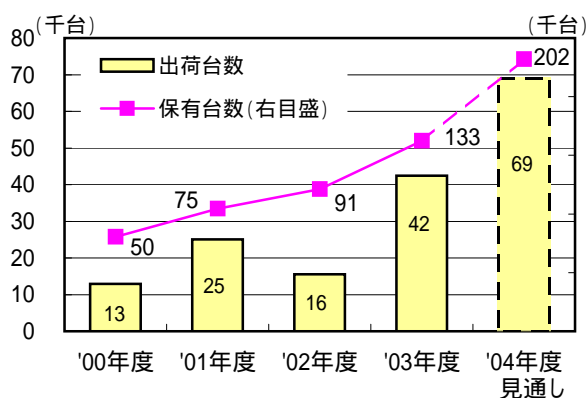


図表2 2003年度低公害車の内訳

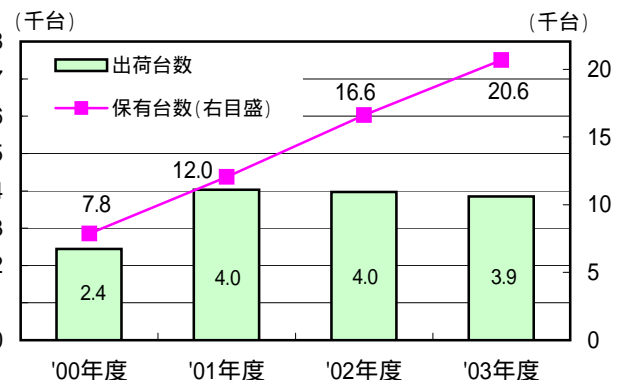


- (備考) 1. 図表1、2とも日本自動車工業会（自工会）「低公害車等出荷台数」他により作成。
 2. 自工会の上記資料では低公害車、低燃費かつ低排出ガス認定車（省エネ法に基づく燃費基準早期達成車で、低排出ガス車認定実施要項に基づく低排出ガス認定車）およびディーゼル代替LPG自動車を「低公害車等」としているが、図表1、2においては、これらの全てを「低公害車」と定義し、そのうち低燃費かつ低排出ガス認定車以外のものを「クリーンエネルギー自動車」と定義している。
 3. H17年基準：新長期規制で決められた排出ガス目標値、H12年基準：新短期規制で決められた排出ガス目標値。

図表3 ハイブリッド自動車出荷台数等推移



図表4 天然ガス自動車出荷台数等推移



- (備考) 日本自動車工業会「低公害車等出荷台数」及び日本自動車研究所「電気自動車等保有台数統計（推定値）」他により作成（04年度見通しは政策銀推定）。

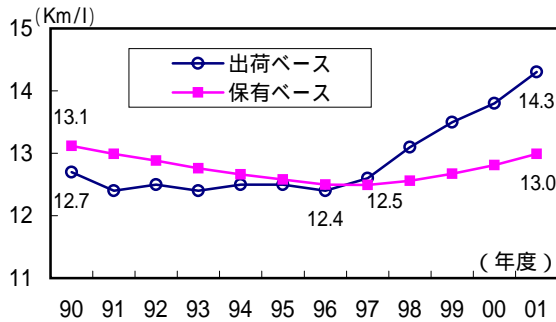
- (備考) 日本自動車工業会「低公害車等出荷台数」及び日本ガス協会「天然ガス自動車普及台数の推移」により作成。

【調査部(産業調査担当) 増田 真男、村上 由紀子】
 お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部
 Tel: 03-3244-1840
 E-mail: report@dbj.go.jp

普及が進む低公害車の動向（２）

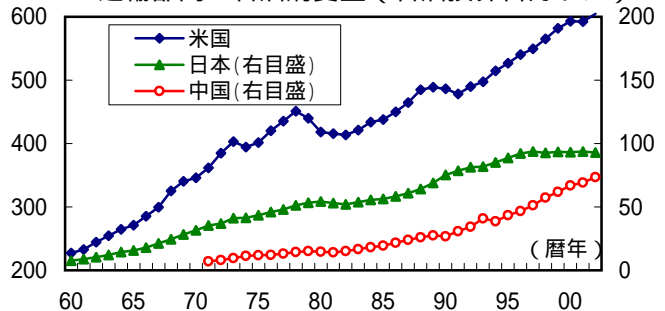
- ・低公害車の普及により自動車の理論燃費は出荷ベースで見るとかなり向上しているが、保有ベースで見ると改善効果は緩やかなものとなっており、運輸部門のCO2排出量抑制という観点からは、ハイブリッド自動車を中心としたクリーンエネルギー自動車の更なる普及加速に期待がかかっている。また、わが国のエネルギーセキュリティ確保という観点からは、諸外国、とりわけ運輸部門の石油消費量が突出している米国や今後石油の大消費国になることが予想される中国においてもクリーンエネルギー自動車の普及を進めることが重要である。
- ・現在、我が国の自動車メーカーはハイブリッド自動車をはじめクリーンエネルギー自動車の分野では世界をリードしており、国内外でハイブリッド自動車のラインアップを充実させるべく各種の取り組みを行っているが、こうした取り組みを政策的にバックアップしていくことは引き続き重要である。
- ・また、運輸部門のエネルギー消費、CO2排出量抑制の観点からは、低公害車の普及に加えてITS（高度道路交通システム）の活用による道路交通量の削減や走行条件の改善（渋滞の解消等）も重要であり、官民一体となって包括的な対策を推進していくことが求められる。

図表５ 日本のガソリン乗用車の理論燃費の推移



(備考) 資源エネルギー庁資料により作成。

図表６ 日本、米国、中国における運輸部門の石油消費量（石油換算百万トン）



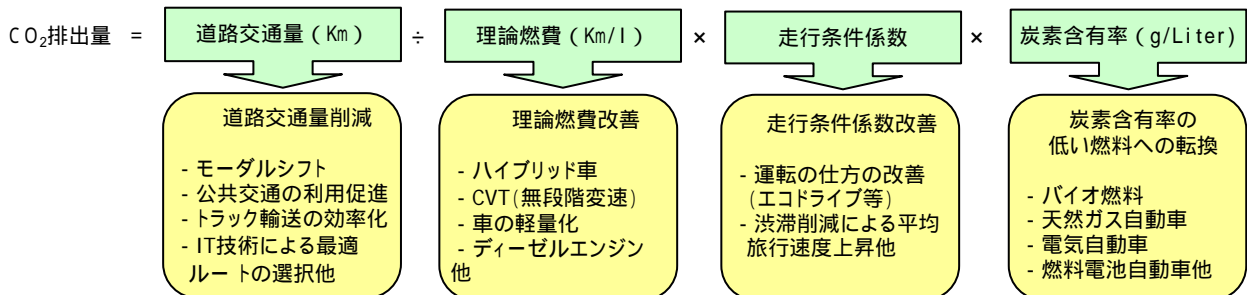
(備考) IEA（国際エネルギー機関）データベースにより作成。

図表７ 国内自動車メーカーによるハイブリッド乗用車の導入状況・計画

	トヨタ	ホンダ	日産	スズキ
車種展開	<ul style="list-style-type: none"> ・プリウス(97～、米00～) ・エスティマHB(01～) ・アルファードHB(03～) ・クラウンマイルドHB(01～03) ・クラウンセダンマイルドHB(02～) ・レクサスRX400h(米05～) ・ハイランダーHB(米05～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インサイト(99～、米99～) ・シビックHB(01～、米02～) ・アコードHB(米04～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティノノHB(00) ・アルティマHB(米06～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ツインHB(03～)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日産、フォードへの技術協力(供与) ・中国でのHB生産開始(05～) 		<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタからHB用コンポーネントの供給を受ける(02/09合意) 	

(備考) 1. 各社発表資料等により作成。
2. HB = ハイブリッド

図表８ 運輸部門のCO₂排出量の要因分解とその対策



[調査部(産業調査担当) 増田 真男、村上 由紀子]

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp